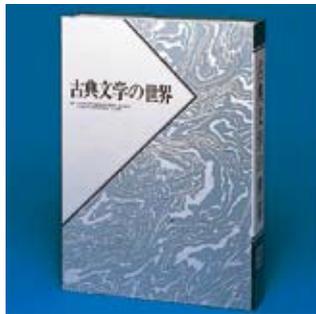


# 作品朗読教材

監修：渡辺富美雄（東京家政学院大学教授）  
小林 一仁（茨城大学教授）  
北川 茂治（鹿児島大学教授）  
尾木 和英（東京女子体育大学教授）  
金子 守（筑波大学附属中学校教諭）

## 古典文学の世界



CBH2403  
各50分／10枚組／解説書付  
25,200円(税抜24,000円)

【朗読】  
加藤道子、竹内三郎、坂本和子、白坂道子

【内容】  
①源氏物語 ②枕草子／更級日記／土佐日記 ③徒然草／方丈記 ④平家物語  
⑤今昔物語集／宇治拾遺物語／十訓抄／古今著聞集 ⑥竹取物語／伊勢物語  
⑦芭蕉 ⑧井原西鶴 ⑨近松門左衛門／江戸随筆 ⑩古事記／大鏡／万葉集

## 現代文学の世界



CBH2401  
各50分／10枚組／解説書付  
25,200円(税抜24,000円)

【朗読】  
加藤道子、竹内三郎、坂本和子、永井一郎 他

【内容】  
①井上靖（しるばんば・天平の雲 他）②木下順二（三年寝太郎《ドラマ仕立て》）③太宰治（走れメロス・富嶽百景 他）④開高健／島尾敏雄（パニック・春の日のかけり 他）⑤井伏鱒二（黒い雨・山椒魚 他）⑥北杜夫／星新一（榆家の入びと・笑い顔の神 他）⑦遠藤周作／安岡章太郎（沈黙・幸福 他）⑧小川国夫／三浦哲郎（夜の水泳・石段 他）⑨辻邦生／山本周五郎／水上勉（夏の海の色・鼓くらべ・郡上の南天）⑩安部公房（赤い繭・空飛ぶ男 他）

## 近代文学の世界



CBH2402  
各50分／10枚組／解説書付  
25,200円(税抜24,000円)

【朗読】  
加藤道子、竹内三郎、坂本和子、永井一郎、川久保潔、古屋和子、白坂道子 他

【内容】①森鷗外（最後の一句・舞姫）②夏目漱石（坊ちゃん・吾輩は猫である 他）③芥川龍之介（舞踏会・鼻・蜘蛛の糸）④志賀直哉（城の崎にて・朝顔・清兵衛と瓢箪・暗夜行路）⑤島崎藤村／国木田独步（千曲川のスケッチ・武蔵野 他）⑥樋口一葉／徳富蘆花（たけくらべ・自然と人生 他）⑦川端康成（伊豆の踊り子・雪国・ハッタと鈴虫）⑧中島敦（山月記・李陵 他）⑨堀辰雄／梶井基次郎（浄瑠璃寺の春・檸檬 他）⑩有島武郎／谷崎潤一郎（生まれいづる悩み・陰翳礼讃 他）

## 新現代文学の世界



CBH2404  
各50分／6枚組／解説書付  
20,790円(税抜19,800円)

【朗読】  
竹内三郎、中西妙子、遠藤 剛、藤田淑子 他

【内容】  
①豊かな心情《詩》（ねがいごと・見えない季節・私が一番きれいだったとき・木琴 他）②心のふれあい1（握手・薪割り・いちご同盟）③心のふれあい2（星が透けて見える大きな身体・絵本）④外国文学にふれる（少年の日の思い出・故郷）⑤美しい環境への想い（木を植えた男・ふるさとの森・春のいぶき・鯨が人間を注目しはじめた）⑥平和への願い（一塁手の生還・字のない葉書・ぼくの防空壕・夏の葬列）

# 朗読指導教材

監修：全国放送教育研究会連盟  
指導：荒川 修(元NHKアナウンサー)  
きき手：島崎真澄  
出演：東京放送児童劇団 他

各巻約30分／6枚組  
解説書付  
化粧ケース入り  
15,750円(税抜15,000円)



## 中学校朗読入門—発音から朗読まで—



CBX5101

●元NHKチーフアナウンサー荒川修氏の指導により、朗読をするための基本的な技能を分かりやすく解説。  
●発声方法などの基礎練習から朗読の実習までを段階的に構成。  
●解説書には、収録した例文と指導上のポイントを掲載。

【内容】①発音の練習②アクセントの練習③表現の練習④朗読の練習 1  
⑤朗読の練習 2 ⑥朗読の練習 3

# 漢文解説教材

監修・解説：石川忠久(二松学舎大学名誉教授)

各巻約45分

テキスト付

各巻2,625円(税抜2,500円)



## 中国の思想



APCS3010

朗読：白坂道子

中国・春秋戦国時代の思想家のうち、儒家と道家を中心に、著名な原典を引いて思想家の人と考えを平易に解説。漢文に親しみながら諸子百家の概要を知る。  
**【内容】**・儒家と道家・孔子について・『論語』・学問「学而時習之…」「温故而知新…」・修養「吾十有五而志于学…」と年令の異称・道德「巧言令色…」「剛毅不訥…」・政治「道之以政…」と徳治主義「子貢問政…」・教育「子貢問師与商也孰賢…」「賢哉回也…」・孟子について・「人皆有不忍人之心…」(四端説)・孟子の性善説と王道思想・老子について・「大道廃有仁義…」・老子の道と無為自然・「持而盈之…」・荘子と価値観の否定・「南海の帝為修…」・その他の思想家

## 漢文の読み方



APCS3008

朗読：白坂道子

漢文入門の第一ステップとして、漢字の性質と漢文の訓読法について、最小限知っておかなければならない基本的な事柄を、わかりやすく解説する。

**【内容】**・中国文化と日本-日本における漢文の歴史と、漢文に何を学ぶか・漢字の話(1)・表意文字・漢字の構成(象形、指示、会意、形成、転注、仮借)・音(呉音、漢音、唐音、慣用音)・訓・漢字の話(2)・熟語の構成(主語と述語、述語と補語、修飾語と被修飾語、並列、雙声と疊韻、一方に助字を含むもの)・漢文の基本構造と訓読・漢文の基本構造・訓読法(白文、訓読漢文、書き下し文)・送り仮名・返り点・書き下し文の書き方・訓読上注意すべき文字

## 中国の史話



APCS3011

朗読：白坂道子

中国の古典『戦国策』『史記』『十八史略』『蒙求』の中から興味深い話を選び、原文を白坂道子氏が朗読。石川忠久氏がその意味内容とともに、原文に関連する事柄や歴史散文の史的な流れを解説、漢文の長文に親しみながら史話の面白さを味わう。なお、音楽に箏に似た琴(きん)を用いている。

**【内容】**・鄒忌の美貌(『戦国策』)・舌ありや否や(『史記』張儀列伝)→『史記』について、合従連衡策・四面楚歌(『史記』項羽本紀)→楚の項羽と漢の劉邦(漢楚の興亡)について、鴻門の会について・勿頸の交(『十八史略』)→例文前段の話・先ず隗より始めよ(『同上』)・伯牙絶絃(『蒙求』)→書名の由来

## 漢詩の鑑賞



APCS3009

朗読：白坂道子  
琴演奏：坂田進一

漢詩の構造の基本的な事項を説明しながら、著名な詩を朗読・鑑賞する。朗読はベテラン白坂道子氏。また押韻、平仄等の解説では石川氏が例詩を中国語で発音、音による規則を明確にする。なお、伴奏音楽には、中国の古代楽器琴(きん)も用いている。  
**【内容】**・漢詩の特色、漢詩の形式(古体詩と近体詩)・句の切れ方・絶句の起承転結→朗読「春暁」(孟浩然)・律詩の構成→朗読「春夜喜雨」(杜甫)・押韻(1)・五言の正格と変格・七言の正格→例詩の中国語による発音・押韻(2)・七言の変格・換韻・一韻到底→朗読「送別」(王維)・平仄・四声(平声、上声去声、入声)・対句→朗読「早春」(都良香)・その他・双声・疊韻・重言(疊字)

## 格言と故事



APCS3012

朗読：桂 文朝(落語家)

日常よく使う格言や故事成語について、噺家桂文朝氏が今日の見方でユーモラスに説明、石川忠久氏が学問的な立場から出典や文章上の注意を解説。テキストの原文を見ながら聞くと楽しみながら漢文に親しめる。

**【内容】**・〈格言〉・格言について・後生畏るべし・病は口より入り・信にして疑はれ・桃李言はざるとも・瓜田に履を納れず・人生は朝露の如し・青は藍より出でて・山中の賊を破る・鶏口となるも・時に及びて当に勉勵すべし・矛盾・助長〈故事〉・五十歩百歩・漁夫の利・推戴・舟に刻んで剣を求む・虎の威を借り・蛇足・塞翁が馬

# 平曲のすべて

監修：金田一春彦

各巻45分

各巻2,625円(税抜2,500円)



## 平曲のすべて(二) —平家琵琶—

APCS3014

演奏：井野川幸次検校、土居崎正富検校、三品正保検校

音源収録1982年。平曲は江戸時代中期、名古屋の荻野検校によって中興された。その風を現在、名古屋の井野川、三品、土居崎の三検校が伝えるが、伝承曲は二百曲中十曲に過ぎない。(二)ではその三検校(前田流名古屋派)の演奏を集める。【曲目】①竹生島詣 演奏・井野川幸次(一度参詣の輩は〜有難かりし事どもなり)②生ずき 演奏・土居崎正富(ここに生ずきと思しき馬〜どっと笑ってぞ退きにける)③宇治川(1) 演奏・三品正保(大將軍九郎御書子義経は〜進み出でて申しけるは)④宇治川(2)(この川の御沙汰は〜遙かの下より打ち上げたり)⑤那須与一 演奏・三品正保(沖には平家船を〜籠を叩いてどよめきけり)



## 平曲のすべて(一) —平家琵琶—

APCS3013

演奏：館山甲午

音源収録1982年。『平家物語』の本文を琵琶の伴奏で語る平曲は、名古屋の三検校と仙台の館山甲午氏によってわずかに伝えられているが、(一)は館山氏(前田流仙台派)の演奏を集める。【曲目】①祇園精舎(一部ノ琵琶〜祇園精舎の鐘の聲〜唯春の夜の夢の如し)②平家連署願書(1.平家これをば〜山門へ送らる 2.藤氏は春日の〜彼は昔の遺跡なり 3.正三位行左近衛の中將〜敬って白すとぞ書かれたる)③木曾最期(1)(木曾は信濃を立ちし時〜今井が行方のおぼつかなさにとって返して…)④木曾最期(2)(木曾殿その日の装束には〜巴は討たれざりけり)⑤那須与一(頃は二月十八日〜籠を叩いてどよめきけり)



## 平曲のすべて(三) —平家琵琶—

APCS3015

演奏：館山甲午

音源収録1982年。(三)では、秘曲とされ、館山甲午氏だけが伝える「灌頂の巻」大原御幸の一筋の演奏と監修者金田一春彦氏による、平曲の初歩的な解説を収める。なお、館山氏の演奏は(一)(三)すべて、氏が父君漸之進氏から伝授された形そのままのものを収めている。【曲目】①大原御幸(中島の松に懸かれる〜湿すとも言つべし)②解説(1)・平曲の構成と曲節・曲節の種類—その旋法と音階 ③解説(2)・曲節の種類・特殊な曲節—シラ声、読み物・琵琶の話—仙台派と名古屋派の旋法、甲所、弾奏法、曲折の手、前奏の最後の音と演奏中の手・「灌頂の巻」の前奏(一部ノ琵琶)の演奏

# 平曲の世界

監修：金田一春彦

各巻60分/解説書付

各巻2,940円(税抜2,800円)



## 金田一春彦が選ぶ 平曲の世界(一)

APCS3016

演奏：館山甲午、広瀬圭穂、木原綾子

『平家物語』の本文を琵琶の伴奏で語る平曲は、江戸時代中期に名古屋の荻野検校によって中興された。その平曲を金田一春彦が自ら選曲しわかりやすく解説。仙台の館山甲午検校(前田流仙台派)の貴重な伝承曲4曲と、広瀬圭穂氏、木原綾子氏の演奏を収録。平曲を構成している代表的「曲節」の見本を収録。【曲目】・木曾最期・平家連署願書・祇園精舎・鏡の巻・那須与一・曲節各種・小督局



## 金田一春彦が選ぶ 平曲の世界(二)

APCS3017

演奏：須田誠舟

『平家物語』の本文を琵琶の伴奏で語る平曲は、江戸時代中期に名古屋の荻野検校によって中興された。その平曲を金田一春彦が自ら選曲しわかりやすく解説。須田誠舟氏の演奏を収録。平曲を構成している代表的「曲節」の見本を収録。【曲目】・宇治川の先陣・大原御幸・曲節各種

# 須田誠舟の琵琶

監修：金田一春彦

各巻55分

各巻2,940円(税抜2,800円)



## 平曲(平家琵琶)

APCS3018

演奏：須田誠舟

琵琶樂の第一人者・須田誠舟氏の演奏による平曲の決定版。聴いて血わき、肉踊るべきばえである。

【曲目】・祇園精舎・木曾最期・大原御幸



## 薩摩琵琶

APCS3019

演奏：須田誠舟

今から450年前に、島津日新忠良によって始められた薩摩琵琶は明治維新以降全国に普及した一時期衰退したが辻靖剛氏等により再生復活した。本作品は今に伝統を受け継ぐ須田誠舟氏の演奏によるCD版である。

【曲目】・彰義隊・潯陽江・城山

# オーディオ詩集

各巻約45分

(サトウハチロー「おかあさん」は約30分)

各巻2,625円(税抜2,500円)



## サトウハチロー おかあさん

APCS3001

サトウハチローの詩集『おかあさん』は、誰の胸にも永遠に生き続ける母親への思いが美しく綴られている。その中の珠玉の数篇を宇野重吉、赤木靖恵両氏と劇団こまどりのこどもたちが朗読。それに「おかあさんの匂いはどんな匂い」など四篇を、トワ・エ・モワと芹洋子が詩情豊かに歌いあげる。

**【内容】**・作者自身による朗読「小さな母の歌」・朗読「おかあさんは」「この世でこよなく美しいもの」「サルビアの花の紅は」「帰らないもの」と知っていながら」他四篇・朗読「母ママおかあさん」「弱くて強くて不思議なもの」「傘の上には水雨」「母の手は」「折り紙で作ったつの箱」「さやさや風が笹の葉なでた」「子犬がね」他五篇

原作：サトウハチロー  
(詩集「おかあさん」より)

唄：トワ・エ・モワ、芹 洋子

出演：サトウハチロー、宇野重吉、  
赤木靖恵、劇団こまどり

## 萩原朔太郎詩集

APCS3002

第一詩集『月に吠える』から最後の第六詩集『氷島』、それに遺稿詩篇のうち、特色ある作品を選んで岸田今日子氏が朗読。同郷の詩人伊藤信吉氏が朔太郎の詩の特徴や感性等について解説。また令嬢で作家の萩原葉子氏が朔太郎の興味ある一面を追想する。音楽は朔太郎自身の作曲によるマンドリン曲(「機織る乙女」等)を用いている。

**【内容】**・「竹」「白い月」「猫」「青樹の梢をあふぎて」「山に登る」「およぐひと」「蛙よ」「群衆の中を求めて歩く」「陸橋」「海鳥」「馬車の中で」「天景」「記憶」「こころ」「旅情」「夜汽車」「才川町」「廣瀬川」「小出新道」「郵便局」「風船乗りの夢」「告別」「晩秋」「我れの持たざるものは一切なり」「軍隊」

監修・解説：伊藤信吉  
朗 読：岸田今日子  
ゲスト：萩原葉子

## 高村光太郎詩集

APCS3003

詩集『道程』『猛獣篇』『典型』とその時代の未刊詩篇の著名作品を、岡田英次、草野心平両氏の朗読で鑑賞。構成者が草野氏を訊ねる形で随所に草野氏の解説を折り込み、高村光太郎生涯の精神史を、詩作を通じて探る。

**【内容】**・朗読「根付の国」・インタビュー、朗読「食後の酒」「声」「さびしきみち」・解説、朗読「冬が来た」「道程」「秋の祈り」「丸善工場の女工達」「鉄を愛す」(草野)・解説、朗読「水上戯技」「偶作七」「春駒」「ぼろぼろな駝鳥」・インタビュー、朗読「首の座」・朗読「涙」・インタビュー、朗読「樹下の二人」(草野)「あどけない話」「同棲同類」「觸知」・インタビュー、朗読「山麓の二人」「レモン哀歌」「荒涼たる帰宅」・インタビュー、朗読「ブランデンブルグ」「別天地」「典型」「裸形」・解説、朗読「十和田湖畔の裸像に与ふ」

監修・解説：草野心平  
朗 読：草野心平、  
岡田英次

## 三好達治詩集

APCS3004

作者自身と、詩の朗読家波瀬満子氏の朗読、詩人川崎洋氏の解説によって、代表的作品をほぼ年代順に鑑賞。三好達治の詩作傾向と心の遍歴の跡をたどる。また、中林淳真氏作曲演奏のギターの旋律が詩情をもりあげる。

**【内容】**・作者自身による朗読「整のうへ」・解説 三好達治の詩の本質・朗読「雪」・解説 詩の鑑賞法・朗読「乳母車」「少年」「鴉」・解説「測量船」・朗読「村」「冬の日」「郷愁」・解説 少年時代の境遇と「母」・朗読「昨日はどこにもありません」「友を喪う四章」・解説 四行詩について・朗読「揚げ雲雀」・朗読「大阿蘇」・解説「大阿蘇」について・朗読「涙」「おんたまを故山に迎ふ」・解説 戦時中の詩・朗読「志おとろへし日は」「浅春偶話」・解説 詩人の人柄・朗読「我が名を呼びて」・解説 戦後の詩・朗読「砂の砦」・作者自身による朗読「ちっぼけな象がやってきた」・朗読「土」「信号」「頬白」

監修・解説：川崎 洋(詩人)  
朗 読：波瀬満子

## 谷川俊太郎詩集

APCS3005

谷川俊太郎氏が自ら作品を選び、波瀬満子氏と自身が朗読。波瀬氏と、自分の内面と詩の係わり、現代詩が抱える種々の問題等について語り合うなかで鑑賞する。音楽は湯浅譲二氏。谷川ファン必聴のCDである。

**【内容】**・朗読「かなしみ」「はる」「二十億光年の孤独」・作者自身による朗読「ネロ」・対談 詩を書き始めた頃・作者自身による朗読「地球へのピクニック」「月のめぐり」※・朗読「背中」「子供と線路」・作者自身による朗読「家族」※・対談 詩の解釈と朗読・朗読「男の子のマーチ」「くりかえす」・朗読「ひげ」「ごあいさつ」「また」※「只」・対談 アドリブについて・朗読「ワクワク」・作者自身による朗読「生きる」・対談 日本語の音楽性・朗読「ののほな」※「いるか」「さる」「十びきのねずみ」「不可避な汚物との邂逅」・作者自身による朗読「なにしているの」(※印は二人の朗読)

監修・解説：谷川俊太郎  
朗 読：谷川俊太郎、  
波瀬満子

## 中原中也詩集

APCS3006

中原中也のただ二つの詩集『山羊の歌』と『在りし日の歌』、それに未刊の詩篇から特色ある作品を選んで林隆三氏が朗読。中原中也研究に定評ある吉田熙生が、作品の語る意味と、中原が死に至るまでの心の跡を解説する。

**【内容】**・朗読「サーカス」「朝の歌」「臨終」・解説 中原の詩集と上掲の詩について・朗読「帰郷」「悲しき朝」「少年時」・上掲の詩について・朗読「寒い夜の自画像」「汚れつちまつた悲しみに」・解説 上掲の詩と中原のメッセージ・朗読「羊の歌」「含羞」「六月の雨」「骨」「曇天」・解説『在りし日の歌』と中原の理想のイメージ・朗読「ゆきてかえらぬ」「一つのメルヘン」「言葉なき歌」「冬の長門峡」・解説 晩年の心境と境遇・朗読『在りし日の歌』後記の一節・朗読「砂漠」「夏と悲運」

監修・解説：吉田熙生  
(大妻女子大学教授)  
朗 読：林 隆三

## 室生犀星詩集

APCS3007

『愛の詩集』以降晩年までの作品から、犀星の時々的心境が色濃く投影されている詩を選び、花形恵子氏が朗読で鑑賞。仏文学の評論家で詩人でもある窪田般彌氏が、犀星の生涯を俯瞰しながら解説する。

**【内容】**「小景異情」「夏の朝」「寺の庭」「犀川」「都へ」「蟬頃」「室生犀星氏」「酒場」「はる」「永遠にやって来ない女性」「自分の生ひたち」「深い孤独の中」「詩と音楽」「世界の涯」「春の寺」「不思議なる顔」「亡春」「おもかげ」「秋の水溜り」「貧しきもの」「切なき思ひぞ知る」「老ひたる乙女」「不安」「パン」「税関」「序詩」「昨日いらつして下さい」「けふといふ日」「舌」「何万枚以前」「その後のふり返り」「老いたるえびのうた」

監修・解説：窪田般彌  
(早稲田大学教授)  
朗 読：花形恵子

弊社全作品の詳しい内容は、下記ホームページで常時ご覧いただけます。

[www.sun-edu.co.jp](http://www.sun-edu.co.jp)



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-22-8 朝日屋ビル9F  
TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674